

世界の指導者は1989年に「子どもの権利条約」を採択し、翌1990年に「子どものための世界サミット」を開いて子どもと若者に対するコミットメントを確認した。「2000年世界子供白書」では、10年前に子どものためにあかあかと燃え上がった炎をさらに高く燃え上がらせることを目指した。この白書は先進工業国と開発途上国の指導者に対して子どもへの約束を再確認することを呼びかけると同時に、子どもと女性の権利を尊重する気持ちが芽生え、栄養を与えられ、子どもと女性の権利を守る動きが始まる最初の間である家族やコミュニティーにおいてもビジョンとリーダーシップを求めている。

今年の白書はまた、すべての人に対して、一つの世代の間に新しい夢を実現するとともに、貧困や差別から解放され、暴力や病気から解放されるという、子どもと女性、実際には全人類のビジョンを共有することを呼びかけている。

予防接種のあと、診療所の外で音楽に合わせて手をたたくナイジェリアの女性と子ども。

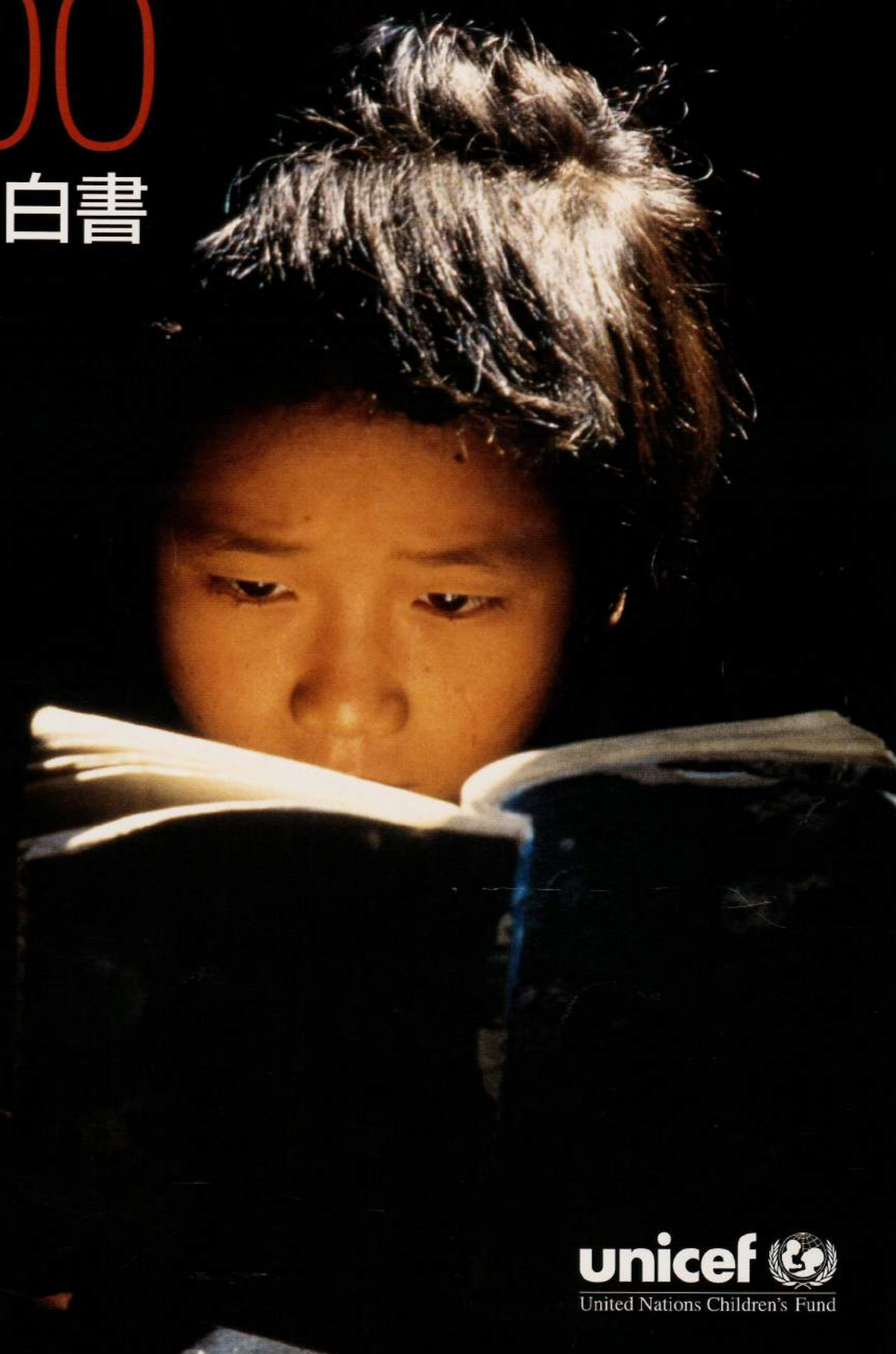


表紙写真：
UNICEF/92-702/Lemoyne
裏表紙写真：
UNICEF/91-0906/Lemoyne

THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN

2000

世界子供白書



B201
9912
13-2

unicef 
United Nations Children's Fund

子どもの最善の利益を守る リーダーたち

「子どもの権利条約」は、常に子どもの最善の利益を考慮して政策を立案し、機構やプロセスを確立し、行動を起こすという価値観を軸にしており、世界の無数の人々がこの原則を守るために努力してきた。次にそれらの人々のうちのごく少数の名前を示す。このリストはユニセフの事務所が作成したもので、コミュニティーワーカーや医療関係者、草の根の団体、NGO、宗教指導者、作家、ジャーナリスト、教育者、法律家、政府当局者など、幅広い分野の子どもの権利の擁護者を含んでいる。ここにその名前を列挙したのは、それらの人々の貢献を認めてのことだが、ほかにも無数の人々が子どものために、より公正な世界の構築を目指して努力していることを忘れてはならない。

アフガニスタン

Co-operation Centre for Afghanistan
人権を擁護し、人権侵害について報告しているNGO。

アルゼンチン

Estela B. de Carlotto
「5月広場の祖母組合」会長。

オーストラリア

Justice Marcus Einfeld
判事、オーストラリア・ユニセフ国内委員会特別代表。

オーストリア

Prof. Clemens von Pirquet, M.D.
(1874-1929)
医学博士、国際連盟当時の国際青年福祉連盟事務総長。

アゼルバイジャン

Hadi Recebli
アゼルバイジャン議会の社会立法部長。

ベニン

Monsignor Isidore de Souza
(1934-1999)
コトヌー大司教、ベニン人権・民主主義研究所の創設者兼名誉会長。

ボリビア

Ana María Romero de Campero
ジャーナリスト、ボリビアの護民官。

ブラジル

Herbert de Souza (Betinho)
(1935-1997)
「子どものための約束」連合の設立に参加。

ブルガリア

Elena Kostova
ブルガリア未来財団理事長。

カンボジア

Mom Thany
NGOのレッド・バルナと連携して、国内にNGOネットワークを設置。

カナダ

Denise Avard
カナダ児童保健研究所の元事務局長。

コロンビア

Children's Movement for Peace
ノーベル平和賞受賞候補。

コンゴ

Thérèse Françoise Engambé
「子どもの権利条約」推進プロジェクト部長。

コンゴ民主共和国

Emery Mpwate Munfe
青年プロテスタント連合会長、青年キリスト教会部長。

デンマーク

Peter Sabroe (1867-1913)
デンマーク議会議員、ジャーナリスト、編集者。

エジプト

Justice Mohamed Abdel Aziz ElGuindy
判事、元エジプト法相、「子どもの権利条約」に関するアレキサンドリア国際会議(1988)の共同開催者。

フィジー

Justice Nazhat Shameem
判事、フィジー子ども調整委員会の元委員長。

ガンビア

Amie Joof Cole
西アフリカ女性連合事務総長。

ドイツ

Reinald Eichholz
ノルトライン・ヴェストファーレン州初の子どものためのオンブズマン。

ギリシャ

Antonis Samarakis
作家、ユニセフ国内大使。

ギニア

Hadja Mariama Diabate
孤児・遺棄児・恵まれない子どものための「国母」。

インド

Tara Ali Baig (1916-1989)
社会改革家、作家、ジュネーブ国際児童福祉連盟のアジア初の女性会長。

インドネシア

Nafsiah Mboi, M.D.
医学博士、NGOの児童保護国内委員会事務局長。

ジャマイカ

Marjorie Taylor
子どものための特使、元児童問題担当国務相。

日本

賀川豊彦(1888 - 1960)
中央社会福祉委員会委員、子どもの権利を推進するために政府や社会に積極的に働きかけた。

ケニア

Justice Effie Owuor
判事、児童法改革特別委員会委員長、ユニセフ国内大使。

レバノン

Nayla Moawad
議会の子どもの権利委員会委員長、レネ・モアワド財団理事長。

マレーシア

Raj Binte Abdul Karim
全国人口・家族開発委員会理事長。

マリ

Général Amadou Toumani Touré
「児童財団」創設者。

メキシコ

Libertad Hernandez (1947-1998)
ベラクルス女性プログラム部長。

モザンビーク

Graça Machel
国連事務総長に任命された武力紛争下の子どもに関する専門家。

ネパール

Gauri Pradhan
ネパールの「チャイルド・ワーカーズ」創設者。

ナイジェリア

Irene Thomas, M.D.
医学博士、FGM(性器切除)に関するアフリカ委員会委員長。

パキスタン

Hakim Mohammed Said (1920-1998)
子どものための各種の機関を創設。

パナマ

Dora Boyd de Pérez Balladares
「パナマの子どもへの約束」の創設者。

フィリピン

Feny de los Angeles-Bautista
フィリピン子どもテレビ財団事務局長。

ポーランド

Prof. Adam Lopatka
「子どもの権利条約」に関する作業グループ議長。

ルーマニア

Dragos Serafim, M.D.
医学博士、ルーマニア子どもの権利協会会長。

セネガル

Doudou Camara (1941-1998)
『子どもの権利と子どもの権利条約の推進のための文化的アプローチ：セネガルの物語と伝説』の作者。

シンガポール

Lim Eng Seng
社会開発省の更生保護部長。

ソマリア

Elman Ali Ahmed (1954-1996)
モガディシオのエルマン学校の創設者。

南アフリカ

Nelson Mandela
ノーベル平和賞受賞者、ネルソン・マンデラ児童基金の創設者。

スリランカ

Prof. Savitri Goonesekere
コロombo大学学長。

スウェーデン

Thomas Hammarberg
国連事務総長のカンボジア人権特別代表。

シリア

Hussein Hassun
法相、少年法と少年司法問題で活動。

タイ

Anand Panyarachun
ユニセフ国内大使。

ウクライナ

Natalia Petrova
NGOの「子どもの権利保護ウクライナ委員会」会長。

英国

Nigel Cantwell
「子どもの権利条約」起草参加NGOの調整者。

米国

James P. Grant (1922-1995)
ユニセフ前事務局長。

ベネズエラ

Comité Juntos por una Nueva Ley
子どもの権利を推進するNGO連合。

イエメン

Nageeba M. Haddad
文化省の児童文化局長、作家。

ジンバブエ

Jarios Jiri (1921-1982)
障害児のためのジャリオス・ジリ協会創設者。